

議会だより

あやがわ

綾川町成人式



～新成人の門出に響く歌声～

平成30年度 綾川町成人式 (1月3日)



2019

NO. 51

平成31年1月22日
香川県綾川町

新年のごあいさつ	2P
定例会・補正予算・審議結果	2～4P
委員会報告	4～8P
一般質問	9～19P
決算報告	20～21P
傍聴記	22P



綾川町議会ホームページ

新年のごあいさつ



綾川町議会議長

河野 雅 廣

あけましておめでとうございます。
輝かしき平成31年の年頭にあたり、町民の皆様が健やか
で希望に満ちた初春を迎えられますこと、町議会を代表し
心よりお慶び申し上げます。

併せて、町民皆様方から賜りました、綾川町議会運営に
おける深いご理解とご協力、更にはご指導、ご支援に対し、
衷心よりお礼申し上げます。

さて、国は、景気回復のため様々な施策を講じておりま
すが、町としても、人口減少と少子高齢化の進行、安全・
安心な地域防災体制の充実等、まちづくりを推進する課題
は山積しています。

町議会と致しましては、執行機関と互いに切磋琢磨しな
がら、まちづくりの主役は町民の皆さんであることを第一
に、住んで良かったと思えるまちづくりの実現に向けて努
力して参りたいと考えております。

町民の皆様にとりまして、本年が実りある飛躍の年とな
りますよう心から祈念申し上げますとともに、今後一層ご支
援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年の
ご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを
申し上げます

綾川町議会

議長	河野 雅廣
副議長	川崎 泰史
議員	安藤 利光
議員	鈴木 義明
議員	横井 薫
議員	福家利智子
議員	福家 功
議員	井上 博道
議員	岡田 芳正
議員	三好 重徳
議員	大野 直樹
議員	西村 宣之
議員	植田 誠司
議員	十河 茂広
議員	松内 広平
議員	三好 東曜

12月定例会

奥池改修負担金に 1710万円

12月定例会は、12月7日か
ら14日までの会期とした。本
会議初日には、「綾川町立学
校体育施設使用条例の制定に
ついて」、「物品売買契約の締
結について」等、議案11件、
報告1件の説明後、11議員に
よる一般質問があった。

決した。
今回の傍聴は、のべ6名で
あった。

また、10月に開催した決算
審査特別委員会の審査内容に
ついて、委員長報告、採決の
結果、「平成29年度一般会計
及び特別会計の決算認定」に
ついては、原案どおり可決し
た。

●物品売買契約の締結
滝宮認定こども園（仮称）
整備事業厨房機器購入費
契約金額（消費税込）
3218万4千円

契約者

四国厨房器製造（株）
代表取締役 片岡 敦子
かたおか あつこ

工期

平成30年12月14日
～平成31年12月26日

条例の制定

●綾川町立学校体育施設使用
条例の制定

現在無料で行っている小中
学校の体育施設の使用につい
て使用料を徴収し、他の体育
施設との整合性を図る。

同日、提案された各議案を
関係常任委員会に付託し、散
会した。
11日～13日には各常任委員
会を開催し、付託された議案
を慎重に審議した。
12日には、学校等再編整備
調査特別委員会も開会された。
最終日の14日には本会議を
再開し、全ての議案11件を可

条例の改正

●綾川町職員の給与に関する条例

平成30年8月10日付け人事院勧告に基づき、民間給与との格差を埋めるため、俸給表の水準及び期末・勤勉手当の支給月数を引き上げる。

●綾川町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例

綾川町職員の給与に関する条例の改正に伴い改正する。

●綾川町長等の給与及び旅費に関する条例

綾川町職員の給与に関する条例の改正に伴い改正する。

●綾川町民体育施設条例

綾川町民体育施設条例にB & G綾上海洋センターと旧小学校体育館を組み入れ、使用料等の見直しを図る。



改修予定の奥池堤防（滝宮地区藤尾）

平成30年度補正予算

◎一般会計

1億7820万円を増額し、総額95億9420万円とした。

●歳出のうち主な増額補正

(千円)

一般会計	人事院勧告・人事異動に伴う補正	12,544
	定住促進補助金・IJU（移住）ターン促進住宅支援事業補助金	22,320
	個人番号カード関連業務費	713
	買い物支援実証実験事業費	324
	社会福祉センター管理運営費	1,000
	町単土地改良事業費	2,942
	県営土地改良事業費	17,100
	中学校管理運営費	1,000
特別会計	国民健康保険 財政調整基金積立金	74,740
	国民健康保険 診療所財政調整基金積立金	32,337
	介護保険 介護給付費の過年度分実績確定により返還金	87,860
	育英事業 育英事業基金積立金	1,000

12月定例会 (12月7日～14日)

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
綾川町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決
綾川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	〃
綾川町職員の給与に関する条例の一部改正	〃
物品売買契約の締結	〃
平成30年度綾川町一般会計補正予算	〃
平成30年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算	〃
平成30年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算	〃
平成30年度綾川町介護保険特別会計補正予算	〃
平成30年度綾川町育英事業特別会計補正予算	〃

■賛否が分かれた議案

議案の内容	議決結果
綾川町立学校体育施設使用条例の制定	原案可決 (賛14 反1)
綾川町民体育施設条例の一部改正	〃 (賛14 反1)
平成29年度綾川町一般会計及び特別会計の決算の認定 (継続審議案件)	〃 (賛14 反1)



社会体育のために使用している小学校体育館

総務委員会

綾川町立学校体育施設使用条例の制定

社会体育のために使用している学校の体育施設と、町民体育施設との使用料等の不公平感を是正し、使用

の資格、許可等について定めるものである。

問 使用料の算定はどのようにしたのか。

答 旧小学校の体育館の電料を1時間当たり300円と見込み、それを基準に施設の面積比で算定した。

問 もう少し負担を軽減するよう検討してほしい。

答 町民体育施設の使用との公平性を保つ上でも、適正な使用料を設定する必要がある。その収入は、体育施設の維持管理費の一部、及び町民のスポーツ振興のための財源にしていく。

問 有料化により、施設の有効利用を促進することが重要になるが、申請方法等、どのように考えているのか。

答 継続的に使用する場合、3カ月ごとに使用料の前納をお願いする。施設の予約時間を限定するなどとしてもらい、有効利用を図っていく。

平成30年度綾川町一般会計補正予算

歳出

●地方振興費

申請者の増加による、若者定住促進補助金申請者及びIJU（移住）ターン促進住宅支援事業補助金の増

額補正。

●小学校建設費及び中学校建設費

ブロック塀改修工事に伴う国庫支出金の財源組み換えによるもの。

●中学校管理運営費

中学校の部活動などの全国大会出場に伴う参加補助の増額補正。

問 ブロック塀改修工事の設計は、また、工事費に係る補助金は。

答 設計は終わっており、近日中に入札予定である。補助基本額の3分の1が国庫補助金である。

問 若者定住促進補助金及びIJU（移住）ターン促進住宅支援事業補助金制度の実績はそれぞれ何件か。

答 若者定住促進補助金は1件100万円として20件、IJU（移住）ターン促進住宅支援事業補助金は現在24件の申請があり、今回4件

追加している。

問 中学生の全国大会出場に伴う懸垂幕を設置しては。

答 懸垂幕設置については、生徒の意識向上のために必要と感じる。今後、設置場所について、学校とも協議をしながら検討していく。

その他

問 ふるさと納税寄付金について、偽サイトによる被害がないようホームページにて注意喚起を行ってほしい。

答 注意喚起に心掛けたい。

問 高松空港民営化の関係で、騒音やテレビの電波障害も増えているが。

答 現地に来て調査するよう県へ要望する。

問 インボイス制度における免税事業者の対応は。

答 平成28年度税制改正大綱において、事業者の準備

状況及び取引への影響、また、経過措置の運用等を検証し、法制上の必要な措置を講じると明記されている。今後、国等の関係各署との制度上の措置について確認していく。

問 滝宮小学校の教室数不足についての対応は。

答 児童数増加に伴う、学級編制及び教室数の不足に係る学校運営について、2021年以降は3学級の学年が複数学年想定される。このため、現状の教室数では対応できないため、施設整備（増築）を計画・検討する。

最終処分場拡張計画（株富士クリーン）

最終処分場拡張計画に伴う綾川町町有地払い下げについて、報告があった。

厚生委員会

平成30年度綾川町一般会計補正予算

児童福祉費の放課後児童クラブ運営費において、滝宮なかよし学級の利用者増加に伴う支援室の増築を計画する設計関係費用として、建築工事関連委託料及び建築確認申請手数料の増額補正の説明が行われた。

問 滝宮なかよし学級の増築について、将来的には児童数が減少する中で増築面積は十分に検討して進めては。

答 小学校、教育委員会、設計業者と協議し、適正規模での設計を進める。

平成31年度保育所、幼稚園、認定こども園の入所申込状況

全体の入所児童数は、昨年より若干減少しているが、今後も転入等による増加が予想される。入所の決定については、3・4・5歳児

は、教育的配慮からも第1希望に入所できるよう配慮する。0・1・2歳児についても施設の条件等を考慮し、町全体で受け入れ、保育士の人員確保に努め、待機児童が出ないようにしていく。

問 昭和認定こども園、滝宮保育所は年度途中で定員数を超えているが、その場合でも受け入れは可能か。

答 両施設とも現在の規模、職員数で十分対応可能である。

最終処分場拡張計画
(株富士クリーン)

管理型最終処分場の埋立方式について説明が行われた。

問 ガス抜き用の換気設備について、資料では煙突状に見えるが、ファンが付いて換気できるものか。

答 設備はファンで送風するものではなく、自然換気により、廃棄物の腐敗防止や悪臭の発生を抑制するものである。

問 環境汚染がないように基準を遵守し、周辺住民に配慮して安心安全な設備であると確認した上で、廃棄物の処理等を進めては。

答 町としても周辺環境に十分配慮するように県へ指導監督をお願いするとともに、処理業者へも申し入れていく。

平成30年度陶病院及び老健あやがわ上半期業務状況

陶病院は、前年度と比較すると外来患者数は減少傾向にあるが、地域連携室体制の整備による入院患者数の増加により、上半期は前年度比約2400万の増収で推移し、改善傾向にある。老健あやがわは、依然厳しい状況であり、入所利用率は前年度対比で減少となっているものの90%を超えている。また通所利用率は微増で推移したが、純利益は昨年同期に対し、約800万円の減収となっている。

問 上半期収入執行率に対して支出執行率が低率であることから、利益増となっていると考えられるが、その要因は。

答 費用削減によるものであり、主に陶病院については外来患者数減による材料費の減少、昨年度実施した施設改良等費用の減少によるものである。

問 看護師等のスタッフは充足しているのか。

答 陶病院、老健あやがわともに、産前産後、育児休暇および病気休暇で不足する部署については、パート職員で対応しているが、常に不足している状況である。ハローワークや看護協会等と連携し鋭意努力しているものの恒常的にスタッフ確保には苦慮している。

問 町営バスのアクセス改善により、通院しやすい環境整備について検討しては。

答 町営バスについては総務課で見直しの作業を進めているところである。他の民間医療機関のご理解、利用のバランスも考慮し、デマンドタクシーの運行見直しも含め総合的に検討していきたい。

問 4月からの診療報酬改定により初診料が加算され、地域のかかりつけ医機能が評価されることとなっているが、夜間、休日診療の対応についての現状は。

答 当番医以外の休日診療については、月10人程度である。専門以外の受診は難しいと思うが、できるだけ公立病院の役割を担えるよう今後とも体制、対応の整備を検討していきたい。

問 今年度のインフルエンザ予防接種について、陶病院は十分対応可能であるか。



町内の多くの方が利用する陶病院

答 ワクチンは常に確保でき、密に連絡をとっているものの、不足傾向にある。小児科は予約での接種であり、中学生以上は予約なしで問い合わせを受けながら接種している。

その他

問 休日保育事業の周知及び利用状況は。

答 周知については、各保育所を通じて保護者にチラシを配布している。利用者は現在のところ、月2〜3名程度であるが、年末年始にかけても申し込みがある。今後必要な方が利用できるように対応していきたい。

問 滝宮保育所移転後の跡地利用はどのような計画か。

答 移転後の跡地利用については、今後、地域の意見も聞きながら検討していく。

問 長寿祝金について、9月議会にて、施設入所者・3か月以上入院されている方も対象にするのか検討課題にするかと答弁があったが、その後どうなっているか。

答 近隣市町の実施状況を見据えて結論を出したい。

建設経済委員会

平成30年度綾川町一般会計補正予算

歳出

●経済課関係

直接支払推進事業の補助金、台風24号災害による町管理農道維持工事の工事請負費及び農業施設の小規模災害復旧費補助金、奥池改修による農業水路等長寿命化・防災減災事業の県営土地改良事業負担金の増額補正。

歳入

●経済課関係

県営農業水路等長寿命化・

防災減災事業に係る分担金、直接支払推進事業に係る県補助金の増額補正。

(株)綾南プラザの経営状況

平成30年度8月から10月までの入場者、売上高概算実績表、及び月別損益計算書に基づき説明があった。

フリーマーケットや綾川マルシェ等のイベントを開催して、来客者増につながるような取り組みを継続していきたい。採算性を考慮して、経営の在り方や方向性を検討し進めていく。

問 道の駅滝宮のリニューアルオープンの予定は。

答 平成31年度に工事が完成することを目標として進めていく。また、うどん店等の公募条件は、状況をみて今後検討していく。

最終処分場拡張計画
(株)富士クリーン

最終処分場拡張計画に伴う綾川町有地払下げ及び香川県植林の県行造林の契

約解除願いについて説明があった。

問 計画地の伐採木の所有者はだれになるのか。

答 正式に解除となれば、伐採木は富士クリーンへの売却となり、60%が香川県、40%が綾川町に支払われる。

その他

問 移住・定住促進住宅サンコープラスあやかみにおいて、町内の一般向けに募集する予定は。

答 平成31年度から、応募

を受け付ける予定である。

問 平成29年度にシカが1頭捕獲されているが、30年度の状況は。

答 現在のところ、捕獲実績はない。

要望 シカに関しては、イノシシ用の対策では通用しないので、今後注視して欲しい。

問 町内の基盤整備事業の進捗状況は。

答 県営事業として「羽床下地区」と「鎌手地区」の2地区が実施されており、



農作物への被害が懸念されるシカ

また「羽床下南地区」は事業採択に向けて協議している。

問 農地付き空き家の農地取得下限面積引き下げの考えは。

答 新規就農を促進し、遊休農地を解消する観点から、特に中山間地の農地付き空き家に限っては1㎡から農地が取得できるよう、下限面積の設定を、農業委員会に対してお願いする。

要望 空き家対策事業とともに、遊休農地についても下限面積を特例的に設定することを農業委員会で認めたい。

問 高鉢山キャンプ場の今後の維持管理は。

答 山の中腹には、県下でただ一つの風穴洞がある。歴史ある施設で、観光スポットとしても注目されているので、今後も維持管理していきたい。

学校等再編整備調査特別委員会

綾上中学校運営に関するアンケート調査

綾上中学校運営に関するアンケート調査の調査対象は、綾上小学校の保護者全員、4年生から6年生の児童、綾上中学校の生徒である。

まず、これからの綾上中学校の生徒数・学級数の推移を示す。質問事項としては、

- ・家庭の状況
- ・綾上中学校のイメージ
- ・教員配置
- ・教科担当教員や講師
- ・中学校の適正規模

・今後の生徒減少に係る中学校の適正配置の検討に伴う期待や不安などについて聞く。

中学校の統合については保護者にも聞く。アンケート内容については、現在、学校及び香川大教育学部先生へも照会しており、意見を聞きなが

らさらに精査し、年度内の実施を目標に進めていきたい。

問 児童・生徒用のアンケートに、部活動について『ほかにどんな部活に入りたいか』という質問を入れては。

答 ぜひ、検討したい。

問 アンケートは、客観的に情報を取りまとめるものではないか。

答 中学校がどうなるのか不安の声も聞こえてきている。アンケートを実施することで、何らかの関心を持つてもらい、意見を表に出していかなければならない。

問 アンケートの質問事項は全員一致で決めてもらいたい。また、十分な見直しをしてもらいたい。

答 全員一致で進めていくのは難しいが、見直し内容については、1月の委員会で示したい。

問 来年度からの保育料無償化に伴う給食費の取り扱い。

答 保育料については、国から無償化の方針が出されている。現在、給食費については、保育所では、副食費は保育料に含まれているが、主食費は別途徴収している。幼稚園は、全額、給食費として徴収している。

今後、国からの説明会が予定されているので、その説明を聞いたうえで、給食費の取り扱いについては判断したい。

平成31年度保育所、幼稚園、認定こども園の入所申込状況

滝宮、山田、羽床上保育所は昨年に比べて増加しているが、全体の入所児童数は、昨年よりは若干減少している。今後、転入等による増加も予想される。



新入園児を待っています



土砂災害防止に活躍する治山ダム



井上博道議員

町長選挙後の融和を巡る問題と対策は

多様な意見を反映し、相互理解を深める

問

町長の施策推進にあたっては、選挙でのしこりを解消し、融和を図ることも重要。

- ① 「町民が求めた、求める新しい風」は何だと考えるか。
- ② 激戦のしこりは解消した、解消しつつあると言えるか。
- ③ 反対者や異論者への接し方の在り方、二元代表制政治に対する見解は。
- ④ 融和対策の一環としての情報発信、座談会開催についての考えは。

答

① 町民との意見交換を特に大事に考え、幅広い意見を求めている。各種施策推進の中で、多様な意見を反映できるように努めたい。それが新しい風になると確信している。

② 反対意見でも、建設的な意見であれば、大切な意見だと考えている。選挙のしこりとして捉えるのではなく、綾川町を良くしようという立場での考え方だと認識している。

③ 二元代表制では、相互の牽制・抑制と均衡での緊張関係が求められる。反対意見でも町を良くする共通目標のもと、相互の歩み寄り、活発な議論が必要である。

④ 今後も、町ホームページやSNSの積極的な活用で、町の魅力を高めていきたい。現在も様々な団体の会合等に積極的に参加しているが、町民の方との意見交換で相互理解を深めていけると考えている。

治山・砂防ダムを巡る問題と対策は

防災・減災対策に引き続き注力する

問

山間部の土砂災害を防ぐための治山ダムや砂防ダムの費用対効果、管理法、よりコストパフォーマンスの高い防災対策等についての考えを問う。

答

自治会への土砂災害警戒区域等の啓発用チラシ配布、説明会実施等、防災対策や災害対応における住民への周知に努めている。

治山・砂防ダムの問題点も

指摘されているが、有用な施設の一つとして県に整備を要望するとともに、住民への避難行動の情報提供や訓練等、引き続き注力する。



住民が生活用水として利用している長柄ダム



安藤利光議員

有害物質は完全に処理できるのか

住民の不安が無いように、県へ要望する

問

報道では、豊島で新たに発見された残存産業廃棄物が綾川町内の産業廃棄物処理施設で焼却処理される。持ち込みの産業廃棄物重量は約610トン、多くの有害物質を含んでいる。この有害物質は完全に処理でき、後世に禍根を残さないのか。

答

汚泥と空ドラム缶は町内の焼却施設で焼却、焼却後発生する燃え殻は町外に搬出し、県内業者で処理し、有効利用する。

問

坂出市等と綾川町の住民が水道水として利用している水源地の上流で焼却をすることが問題である。汚泥には県の検査でも水銀など有毒性のものが含まれている。排出ガスの成分検査を行い、有害物質を完全に処理できるのか。過去に、1・4ジオキサンが綾川に流れ出たことがあるが。

答

1・4ジオキサン等は処理施設で処理し、周辺への飛散を抑えて環境保全に資する処理を行う。住民の不安が無いように県へ要望する。

基金や余剰金の活用で国保税を下げては

国保税、昨年度とあまり変わらない

問

町の国民健康保険税は所得300万円の4人家族（40歳の夫婦と子ども2人の世帯）の場合、54万円余りに

答

県推計の標準保険税額にはならない。昨年度と変わらないと予測している。

なる。これ以上の負担は限界である。来年度は、基金や余剰金の活用で下げてみては。



生徒数が増加している滝宮小学校（2学期終業式）



三好重徳議員

滝宮小学校の教室数の確保は

2021年度に向け仮設校舎の建設を検討する

滝宮校区は子どもの数が増加傾向にある。滝宮小学校では今後、生徒数の増加により70人を超える学年もあり、教室数の確保が課題になる。

問 町全体で、若者定住促進補助金（限度額100万円）制度の実績は。

答 平成28年度60件、平成29年度70件、本年度は11月末までで50件である。

問 町全体で、綾川町I・U（移住）ターン促進住宅支援事業補助金（家賃補助）制度の実績は。

答 平成28年度5件、平成29年度15件、本年度は11月末までで24件である。

問 滝宮小学校の今後の児童数の見通しは。また、教室数の確保についての検討はしているのか。

答 現在の児童数は346人で、2023年度は369人以上と予想している。2021年度以降、3クラス編制の学年が2、3学年になり、教室数が足りなくなると考えている。児童の学習環境が確保できるように、町としては2021年度に向け、仮設校舎の建設を検討する。来年度に設計、2020年度に建築工事を行う予定である。

人工知能（AI）の導入を

先進市町の導入実績を参考に研究を進める

人工知能（AI）の活用により、各種議事録作成を自動で文章化。また保育所の入所選考事務など、数百時間かかっていた事務作業が数秒間でできるようなった事例もあるようだ。

人手不足が社会問題になっ

問 町全体で、綾川町I・U（移住）ターン促進住宅支援事業補助金（家賃補助）制度の実績は。

答 平成28年度5件、平成29年度15件、本年度は11月末までで24件である。

（AI）の導入は効果的であると考える。現時点では業者から提供されるサービスは利用できるメニューが限られ、また費用についても高額である。今後、先進市町の導入実績を参考にしながら、慎重に研究を進めたい。



まんのう町を運行する自由乗降バス（停留所以外でも停車）



松内広平議員

町営バスを自由乗降型に変更しては

フリー乗降区間の設定等、研究課題とする

問 本町の地域公共交通すなわち住民の交通手段における平成29年度の1回あたり平均乗車人数は、町営バスが1.8人、デマンドタクシーは0.1人、1.0人と少ない。住民にとつてもつと便利で使いやすく、利用頻度の高いものとするため、次のとおり見直しをしては。

①町営バス・デマンドタクシー

をまんのう町のように、自由乗降型に変更しては。

②日曜・祝日・年末年始も運行を実施しては。

③乗車人数を増加させるための今後の取り組み計画は。

答

①平成29年度の住民アンケートを元に路線改正した。フリー乗降区間の設定による利便性の向上等、今後の研究課題とする。

②買い物物支援や通院の利便性を考慮しても、現在検討の予定はない。ただし選挙の投票日については、大勢の皆さまが投票できるよう例外運行も検討していく。

③フリー乗降区間の設定など先進的な取り組みを積極的に情報収集していく。

「働き方改革」セミナーや「コンテスト」を

国・県・他市町の動向をみて研究する

問 「働き方改革」の課題は、時間外労働時間の減少、年次有給休暇の取得である。

仕事とプライベートとのメリハリをつけることができれば従業員満足度が高まり、企業にとつてもプラスである。町内事業所で広がっていく

めに、以下の取り組みを実施してはどうか。

①「働き方改革」の事業所向けセミナーを実施しては。

②国や県の取り組みへの積極的賛同企業を増やしては。

③「働き方改革」取り組みコンテストを実施しては。

(数値部門、取り組み部門)

答

④コンテストの優良企業・事業所をPRしては。

ご指摘の「働き方改革」の事業所向けセミナー等の具体的な取り組みについては、国・県・他市町の動向や町内事業所の現状について情報収集を行う中で、研究を進めていく。



「うどんモニュメント」もアイデア一つでインスタ映え



三好東曜議員

6月議会質問後の進捗状況は

現在は調査研究段階だが前向きに進める

問 マイバッグの啓発は。

答 町広報で啓発した。今後も継続的な啓発を推進する。また、国の「プラスチック資源循環戦略」に基づき、町商工会を通じて小売店等の事業者に対して、マイバッグ使用の啓発・レジ袋有料化・ビニール袋の配付の抑制等、廃棄プラスチック製品の減量化や紙製などの再生可能な素材への転換を進めるよう協力

を求めている。

問 神社仏閣、史跡、文化の見える化は。

答 ホームページを活用した情報発信を進めたい。

問 地域の無形文化財のデジタルアーカイブ化は。

答 できるだけ早い時期に公開できるように取り組んでいきたい。

問 農家民宿、民泊の推進は。

答 綾川町新規創業支援事業の補助対象になるので、啓発推進を図っていききたい。

問 グリーンツーリズムの推進は。

答 実践者本人の希望があれば、観光協会のホームページ等に掲載することを検討していきたい。

綾川百景を制定しては

まずはフォトコンテストを成功させたい

問 綾川町の絶景スポットを公募し、町が制定すること、誰もが綾川町の見所を観光客に説明しやすくなる。棚田や蛸、紅葉に桜、四季折々の自然も都会に住む人々

の心を打ち、新たな観光資源の発見となるのではないかと。インスタ映えをする場所も積極的に発掘していく必要がある。町の考えを問う。

答 絶景スポット発掘はとても重要である。魅力発掘のために今年度フォトコンテストを開催している。まずはこれを成功させたい。また、制定に関しては慎重に検討したい。

に

に



福家利智子 議員

ひとりで悩まずに、まずは相談してください

- 育児やしつけに困っている
- 子育てがしんどい
- こどもやからだの発達が心配

綾川町子育て支援課 (相談電話)

受付時間/原則平日 8:30~17:15

☎087-876-1122



かんちゃん あゆちゃん
綾川町子育てイメージキャラクター

綾川町・綾川町要保護児童対策地域協議会

児童虐待防止の取り組みは

個別ケースに合わせて協力体制を整える

問

子どもたちの権利が守られ、全ての子どもが夢を持ち、いきいきと成長できる環境が守られることを強く期待している。対応する窓口での報告、相談、連絡を密にして子どもたちに寄り添い、虐待から守るために、専門職の配置を含め、更なる体制の強化にどう取り組むのか。

答

昨年より、子育て支援施設さらに、他市町で経験を積んだ職員を児童家庭相談員として配置している。今年ももう1名増員した。また、児童家庭相談員とともに事務担当職員も積極的に研修を受けている。

様々なケースに対応していくためにも、専門職の配置は重要な課題であると考えます。これからも警察や西部こども相談センターの職員の力も借りながら、個別ケースに合わせた協力体制も整え、対応していく。

教育、研究機関との連携で

農業を担う人材育成は

次世代を担う農業者の育成は重要である

問

基幹産業である農業の次代を担う農業者及び地域農業指導者を養成する農業専門職業大学を誘致することとは大きな役割がある。

将来の日本の農業を担う若い世代を、国際的視野に立った新たな農業の地域人材に育

答

次世代の農業を担う農業者及び地域農業指導者を養成するため「農業専門職業大学」を誘致することは、

ため、レベルアップした知識と技術を習得した魅力ある農業者の育成にどのように取り組むか。

きわめて重要であると考えている。しかしながら、誘致については、現「農業大学校」も存在することから、時期等を考慮し、慎重に進めていきたい。



「人が集まる綾上の町づくり」の児童によるプレゼンテーション
(綾上小学校6年生)



大野直樹議員

綾川町の魅力発信(P.R)をどのように

していく住み続けたいと思えるまちづくりを目指し、魅力発信していく

地域おこし企業人(協力隊)

問 綾川町が好きになる人・綾川町に関わりたい人・綾川町に受け入れる町職員、この町で住み育つた地域の人々が関わることにより、地域に根差した新しいものが生まれる。町おこしの原点は、ヒト・モノ・コトに関わる関係人口の多さ、深さにより決まると考える。

答 総合戦略を達成し、充実させるために再度、地域おこし協力隊や企業人の活用を検討しては。

地域おこし協力隊・企業人導入のためには十分な調査研究が必要と考え、現在取り組んでいる。ミスマッチを防ぐためにも町おこしやPRのための方向性も見定めていきたい。

すまいるプロジェクト

問 町外へ出ていく人達に、Uターンしてもらった際には、子どもの時から綾川町を好きになってもらう必要がある。子どもの時から、まちづくりに参加ができる場が必要である。

答 自ら町の魅力を発信でき、町民参加型の社会をつくるためにも再度、子ども議会、子ども観光大使を検討しては。

総合戦略の中で「末永く住み続けられる環境の整備」としており、目標を達成するためには、綾川町に愛着を持ってもらうことが大切である。12月に綾上小学校での総合的な学習の時間において「人が集まる綾上の町づくり」をテーマに、児童によるプレゼンテーションが予定されている。このような機会を増やし、町に対する愛着を醸成していく。

つごみ つごみ

問 本町は他市町に先行して様々な子育て支援を行っている。若い世代に対し、子育て支援が一目でわかる、移住定住用のパンフレットの作成やHP・SNSの活用をどのように考えているのか。

答 子育て応援BOOK「さらさら」を各施設や役場窓口で配布するとともに、同じ内容をホームページにも掲載し、周知している。各保育所の保育情報も月1回程度、フェイスブックで掲載を始めた。

また、スマートフォンを使って子育て世代に情報提供ができる「子育て応援アプリ」の導入に向けて、現在準備を進めている。



朝の登所風景（滝宮保育所）



植田 誠司 議員

滝宮認定こども園（仮称）開園後の 交通安全対策について

開園前に保護者と十分に協議し、

安全に通園できるようにする

問

平成32年開園予定の滝宮認定こども園（仮称）の、開園後の登園・降園時の送迎においては、大変な混雑が予想される。交通安全対策については、地元にも懸念されている方もいる。このような現状及び意見に対し、どのような方策を考えているのか。

答

現在整備している滝宮認定こども園（仮称）の整備地は、主要県道と町道の交差点付近で町内でも比較的交通量が多いところであり、送迎時の交通安全対策は不可欠である。交通量調査を事前を実施し、その結果を踏まえて、送迎車両の敷地への出入り口を2カ所設け、安全な動線で計画している。また、駐車場についても、児童数及び送迎車両数を考慮し、送迎用の駐車スペース60台分を確保している。

また、開園前には保護者と十分に協議をし、利用する親子が安全に登園、降園できるようシミュレーションを行い、保護者にもご協力をいただきながら対応していきたい。

要望

隣接道路には踏み切りもあり、大変混雑すると思う。その点も十分考慮した上で、一般の方を巻き込んだ渋滞等、極力解消するように。



滝宮認定こども園（仮称）外観パース



増加する耕作放棄地



岡田 芳正 議員

耕作放棄地への行政対応は

集落営農の組織化を図っていききたい

問

現在、耕作放棄地となっている農地の再生・利用は喫緊の課題であり、今後、耕作放棄地となりうる恐れのある農地も数多く、発生原因は高齢化等による労働力が不足し農地の受け手がいないのが、現実である。

多くの農家が、限られた労力の中で農業に従事しており、これから先を考えると耕作放棄地が増え土地持ち非農家の増加が懸念される。一方、無理を承知で地域のために農地を預かって頂いている担い手もいるが、一人ひとりの限界が近づいてきている。

農地の維持管理は、所有者が責任を持って管理を行うのが原理原則である。とりわけ平地と中山間地域との違いは、法面が広範囲等であり、過疎化、高齢化の進行により適切な保全管理が困難となっている。

早急に地域での担い手等をいかに掘り起し育てていくか

答

が課題と思うが、どう考えているか。

耕作放棄地の現状は、平成29年度の調査によると、305 haとなっており、その内、再生利用が可能な農地は、前年度より6 ha増の約30 haである。また、再生利用が困難と見込まれる農地は、前年度より約17 ha増の約275 haで、農地全体面積の約11・8%を占めている。また、今後は農業人口は更に減少し、農業従事者平均年齢も70歳前後になると予想される。

現在、個人での兼業農家は大変厳しくなっている現状から特に、地域のみならず農地を守っていく集落ぐるみの集落営農の組織化を図っていきたいと考えている。また、中山間地域では、直接支払制度を活用して維持管理に取り組んでいる地域が多くあり、現在の制度では協定期間が5年間と長いことから、次期に継続して取り組むことができるよう期間の短縮を町村会を通じて国に要望している。





災害時救援対応型の自動販売機



十河茂広議員

災害発生時における避難所運営は

「避難所運営マニュアル」を作り上げていく

問 近年、未曾有の災害が連続して発生している。地域防災計画では、防災体制の確立、防災事業の促進、災害復旧の迅速化等を定めており、さらに多様な災害に備え、地域防災マニュアルや避難所運営マニュアル等を整備することになっている。避難所生活は住民が主体となつて行うべきものとなっているが、災

答 害発生時の避難所運営の流れはどのようになっているのか。わが町では「避難所開設マニュアル」を備え、

出水期には町の主要避難所である8か所の公民館と綾上支所で実際に運用している。これは避難所待機すべき人間が、どのような基準で避難所を開設し、どのように避難者を受け入れるかについて定め

たものである。住民の中で地域の特徴を繰り返し掘り起こしていただくことで、自然と皆様の関心が、移動先の避難所の自主運営に移っていく。今後は、防災訓練のメニューの中に避難所運営訓練を盛り込み、住民の実験を伴う「避難所運営マニュアル」を作り上げていく。

避難所災害対応型の紙コップ式自動販売機設置を

有用性について研究する

問 電気、水道が確保されれば災害時にお湯・お水、特にお湯が無料で提供できる。赤ちゃんの粉ミルクの調乳やアルファ米の調理等において大きなメリットがある。

紙コップなので衛生的で、重ねて処理ができるため場所もとらない。紙コップ式自動販売機を設置しては。

答 「香川ペプシコーラ販売株式会社」と災害協定を結んでいる。災害対応型紙コップ式自動販売機についても、有用性について研究していく。



にこやかに講習を受ける丸亀市の看護師等ボランティアの皆様
(丸亀市健康福祉部健康課提供)



川崎 泰史 議員

災害時看護師等ボランティア登録制度の創設は

登録、実施に向けて準備を進めたい

問 「災害時の医療救護活動に関する協定」が締結された。しかしながら災害時は人手が足らず、体制を補完する存在が必須になる。そこで、丸亀市で実施されている「災害時看護師等ボランティア」の登録制度を創設してはどうか。定期的な講習を行い、

ボランティアが集まりやすい環境を整備することも大切になる。

答 大規模災害発生時に応急救護所を開設した場合は、多くの医療協力者が必要になる。また、大雨や台風時には地区公民館等への避難を呼びかけているため、各避難

所で健康状態の把握や健康相談、感染予防等にも、迅速に対応できる医療協力者が必要になる。「災害時看護師等ボランティア」は有事の健康危機に対応できる体制の一助となり、重要である。

災害時の迅速な情報発信の手法は

研究課題とする

問 災害発生時は対策本部も忙しくなる。しかし情報発信は重要で、それが出来ない場合、支援の輪から取り残されることが起きている。そこで視覚的にインパクトが強い方法で町のWEBサイトの特設ページを防災専用画面に切り替えてはどうか。

また、同じ情報を一回の作業で、複数のメディアに送信

答 災害時の情報発信は、寄せられる情報の精査を行い、迅速かつ正確に公開する必要があり、台風21号接近時に町のホームページを災害用に切り替えて運用を行った。

問 防災用のホームページの切り替えに関して、現状はページの一部が切り替わる状態だと記憶している。専用の全く違う画面に完全に切り替わる方式を提案する。

答 今後の課題としたい。

また、同じ情報を一回の作業で、複数のメディアに送信

また同報送信ソフトの活用は、受信側のソフト毎の特徴があり、タイミングによって

び企業会計の決算を審査・認定

7億5千万円を積み立て

10月23日から25日までの3日間開催し、慎重に審議した結果、一般会計及び特別会計、

一般会計

歳入 104億5477万円
 歳出 95億6338万円
 差引 8億9139万円
 その内、7億5千万円を財政調整基金に積み立て、残金の内、5012万円を翌年度に繰り越した。

総務関係

●総務課関係

問 自治会加入率の向上に向けての取り組みは。

答 加入促進について自治会連合会で検討するのに加え、メディア利用も検討している。災害対応面からも組織化することが重要であり、今後検討していく。

問 ふるさと納税が前年比1千万円ほど増えているが、今後の取り組みは。また、クラウドファンディングについてはどのように考えているのか。

答 総務省の条件を守りつつ、新しく地域の特性を含めた返礼品の開発を進めている。クラウドファンディングは考えていない。

問 定住促進事業の転入・転居者の状況は。

答 琴電沿線付近に高松市からの転入者が増えている。今後も啓発・推進をしていく。

問 空き家対策の取組みは。

答 空き家対策の計画は平成30年度には制度設計を進めたい。

町営バスについて、福祉との連携等、今後どのように事業を展開していくのか。

答 買い物支援等の福祉を今後協議していく。運行については利用状況を勘案しつつ協議・検討を重ねる。



町営バス

●税務課関係

問 未登記の家屋が多数ある。登記を進められないのか。

答 県下の担当者会に議題を提出しており、今後検討していく。

問 小児生活習慣病対策事業の効果は。

答 小中学生のうち96・3%が受診した。採血結果に問題があった児童生徒の50%以上が2次検診を受けた。未然の対応という点で効果が上がっている。

厚生関係

●健康福祉課

問 ほっとか連とこ100歳体操は、現在何カ所で行われているのか。また、その効果は。

答 100歳体操は、地域の自治公民館等44カ所で行われている。お年寄りの筋力アップ、体力の維持という効果はもちろんであるが、地域の方々が集い、会話し、談笑もあり、地域での仲間づくりができ、認知症予防に大変効果があると考えている。



ほっとか連とこ100歳体操 (チーム権現)

●介護保険特別会計

問 介護予防で重点としていることは。

答 地域で誰でも集うことが出来る場所が必要であり、孤立しないことが大事である。今後も100歳体操や、いきいきサロンを充実させていきたい。

29年度 一般会計と特別会計及 財政調整基金に

平成29年度の決算監査を行う決算審査特別委員会（委員長 福家功 他13名）は、企業会計の決算をいずれも認定した。

●陶病院事業
問 地域密着の病院として、どのくらいの方が陶病院を利用しているのか。

答 町内利用者は全体の7・8割で、高い率で利用していただいている。病院を選ぶ理由は医師の評判・人気が大きいと考えられる。医師不足は深刻であるが、ただ増やすのではなく、医局運営の中で医師の意識向上を図ってもらうよう努力する。

●子育て支援課
問 病児保育の希望者が増加しており、病児保育室の増設等の要望にどう対応するのか。

答 陶病院内で実施している「うぐいす」に加えて、建設中の滝宮認定こども園（仮称）内でも対応できるように計画している。緊急時の対応等も含め、綾歌地区医師会とも協議をしながら実施していきたい。

●住民生活課
問 マインナンバーカードの交付状況は。

答 29年度で交付枚数1850枚である。交付率は7・59%、対前年度252枚の増加。県全体では8・94%で県平均よりも交付率が低い。なお今年度9月末で1935枚、7・91%で、85枚の増加である。取得方法やメリットについては、ホームページに掲載しているので、多くの方が取

得・申請してご利用いただきたい。
建設経済関係
●経済課関係

問 県営ため池事業について、補助を受ける順番等があり予算確保できなかったと聞いている。住民の防災意識が高くなってきている中、早急に対応できないか。

答 今後も県に要望していく。

問 高山航空公園の遊歩道の草刈りができていない。委託の状況は。

答 年間を通して施設の管理、清掃業務、修繕が必要な個所の報告等をシルバー人材センターに依頼している。今後は迅速に対応してもらえよう協議をする。

●建設課関係

問 道路標識等について、予算に対し不用額（支出せずに済んだ額）が多くなった理由は。

答 予算の範囲内でもっと執行すべきであった。平成30年度については適正に執行していく。

問 サンコーポラスあやかみの空室について、募集の状況は。

答 平成30年2月から募集を開始しており、県外の新聞等でもPRを行っている。移住・定住を目的とした住宅であり、当面は募集対象者を現在のままとしたい。なお、町外より17世帯31名の入居があった。

●水道関係
問 料金徴収の対象となる使用水量が大きく減少している。原因、および増加させるための対策は。

答 旧綾南管内では91・29%であるが、旧綾上管内において73・1%と減少している。山間部において配水管・給水管が老朽化しており漏水箇所があると思われる。今後も計画的に老朽管の更新工事に取り組みたい。

問 平成30年4月、水道課が香川県広域水道企業団へ移行し、今までもりも住民から遠い存在になったと考えられる。住民へ情報提供していくためにも審議会の設置を要望するべきでは。

答 企業団本部においてブロックごとの公聴会を順次行う計画をしている。



香川県広域水道企業団綾川事務所（綾川町北）



12月定例会の傍聴風景（12月7日）

町議会を傍聴して



滝宮地区

福井 克明さん

定年を機にして、我が町『綾川町』の事を知りたいと日頃より感じていました。

今回、知人より綾川町議会の傍聴の機会があると聞き、良い機会と思い、興味本位で傍聴をしました。

12月7日の開催の12月定例会では、一般質問において、町民との対話の在り方、町の魅力発信、人口減少に対する取り組み、児童虐待防止への対応、空家や耕作放棄地の活用等々について熱心な質疑が行われました。

特に、いつ発生しても不思議でない、自然災害に対し、如何にして町民の生命・財産を守るか熱心に論議がなされ、興味深く拝聴しました。

会計決算については決算審査特別委員会における質疑内容が委員長より詳細な報告がありました。絶対多数で可決されました。

大切な血税の執行に対し、町議会でのように審査している事が確認することが出来、有意義な機会となりました。

最後に多くの町民の方が傍聴を経験され、地方自治に関心を持つ良い機会になればと思います。

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは、議会事務局で住所・氏名・年齢を記入するだけです。
次の定例会は、3月の予定です。
お気軽にお越しください。
※議場内での撮影、録音、飲食は禁止です。

議会モニターを募集しています!!!

詳しくは、綾川町ホームページをご覧ください。



編集後記

明けましておめでとうございます。

平成30年12月議会は、各常任委員会に付託された条例の制定・改正議案、平成30年度補正予算議案を慎重に審議し、本会議にて可決、承認しました。

住民の皆様には議会活動をよりわかりやすくお伝えするため、編集委員会メンバーは一丸となつて、より見やすい紙面づくりに取り組んでいます。

今年は平成最後の年です。よりよい町づくりに向けて、議会も更に精進を重ねますので、議会だよりの御愛読を今年もよろしくお願い申し上げます。

議会広報編集委員会

委員長 安藤 利光
副委員長 西村 宣之
委員 三好 東曜
委員 松内 広平
委員 十河 茂広
委員 植田 誠司
委員 三好 重徳
委員 井上 博道